
コロナ狂騒曲

人類の進化と踏み絵



深夜のチャットで	3
コロナの本質とは?	4
親子と神と課題	6
超古代文明	8
シンギュラリティ	10
ムーンショット計画	11
霊的文明の到来	12
来生は違う星?	13
既に救われている	15
ワクチンとブロックチェーン化	15
ワクチン対策	16
イベルメクチン	17
ファビピラビル	18
PCR検査を12月で停止	19
新型コロナは存在しない?	20
最後に	21

深夜のチャットで

昨日の夜の事。

「コロナやワクチンって陰謀なんですよね？」

みたいな会話になった。

it講座の参加者さんとチャットワークを使ってマーヤを解いたりエネルギーワーク的な瞑想をしている時の事である。

やっぱり、このテーマは去年から誰しものが抱える問題だろう。

ご存知のように武漢から始まったこの騒動は未だ終息の気配はなく、最近ではワクチン問題として私達の生活に侵入してきている。

ユニークな事に、このワクチンについては医師にしる科学者にしる精神世界にしる意見が分かれる。

- ・ワクチン肯定派
- ・ワクチン否定派
- ・様子見派

ザックリ分けるとこうなるが、どちらかというと・・・

- ・スピリチュアル
- ・オーガニックな健康派

などはワクチン反対派が多いように見受けられる。

LINEやメールやチャットでこのコロナやワクチンについて・・・

「リアルさんはどう思いますか？」

と聞かれる機会も増えてきたので、軽くは答えるが本質的な意見をあまり述べなかつたので、今回は文章で解説してみる。

私自身、今のところは打つ予定はないし、どちらかと言えばワクチン以前の問題としてコロナ自体がどうだという問題もある。

だから、どちらかと言えば否定派とも言える。

ただ、どうしても否定かという致し方ない事情があればしょうがないというスタンス。

なぜなら、ワクチンを打たないと社会生活が送れないような状況になってくる可能性も今後数年で無くは無いかからだ。

また、基本的にはコロナもワクチンも所詮この世の事なので、個人的な好みとしてはあまり望ましくは無いが、流れ的に不可避ならしょうがないみたいなスタンス。

コロナの本質とは？

ただ、それは私個人の好みの問題であって本質的な問題では無い。

本質的な問題とは何か？

それは是非や理由である。

- なぜコロナやワクチンの問題が起きているのか？
- DSが背景にいて人口削減計画を進めているのか？
- 製薬会社やそれにむらがる権力者の利権の問題なのか？
- m-RNAワクチンは画期的なワクチンなので大衆の理解が得られていないだけなのか？
- アヌンナキ（宇宙人）が金の収穫の為にイスラエルに降り立つ前触れなのか？
- いやいや、普通にワクチンなんだから常識人は打つのが正解なのか？
- ワクチン反対派の人は陰謀論者だから、偏った考えの人達なのか？

などなど、人によって真っ二つに意見がわかれる。

おそらくは現時点ではどのような回答というか選択でも、誰も納得するような解は導きだせないのでは無いだろうか。

「どうなんだろう？」

と誰もか問いたくなる。

「コロナって実際にどうなんですか？」

「緊急事態宣言は必要なんですか？」

「ワクチンは必要なんですか？」

「安全なのですか？」

「感染者が増えているのでいよいよロックダウンか」

など問いたくなるだろう。

それは医師に対してだったり

論文を書いているような研究者であったり

政治家であったり

ワイドショーのコメンテーター

最終的には神や天使に・・・

「どうしてこんな状態になっているんですか？」

と訴えたい気持ちになったり。

親子と神と課題

そこで話は戻るが、昨日の夜にそのような会話になった時に私がシェアしたのは・・・

「それは親と子供で考えてみるというのがいいですよ」

という話になった。

「リアルさん、親と子というのはどういうことですか？」

と思うかも知れない。

例えば、親が子供達にタブレットをプレゼントしたとする。

母：「これで仲良くYouTubeでも観なさい」

と買い与えた。

そこで、子供達で仲良くYouTubeを観たり、宿題や勉強をしてくれたら親としては嬉しいわけだ。

そうなってくると.....

母：「エライわね！　じゃー今度はパソコン買ってあげましょう！」

となるかも知れない。

しかしだ。

子供A：「これは俺が使うんだ！」

子供B：「いや、私のよ！」

みたいに喧嘩になってタブレットは壊すわ、殴り合いの喧嘩になったら.....

母：「バカじゃないの！ おやつは無しです！」

とペナルティーを喰らったりする。

でだ。

このパターンを次のように変換してみよう。

親＝神

子供達＝人間

タブレット＝テーマ（課題）

なる。

テーマというのは今でいえばコロナとかワクチンだが、原子力とかAIとかインターネットでもいい。

神が私達にテーマとして成長するたびに与える課題みたいなもんだと考えてみよう。

「それをクリアしたら、次のステージ」

みたいなニュアンス。

昔だったら「火」みたいなイメージ。

原始人が火を使う事によって・・・

- 暖を取ったり
- 食物を調理したり
- 暗闇でも視野が確保出来たり

-
- 猛獣から身を守る事が出来たり

という利便性を確保して生活圏を広げたり人口を増やしていった。

しかし、その火によって.....

- 火傷をしたり
- 火事になったり

という反作用も生まれたが、私達は大方その火の問題をクリアにした結果、現在の文明が築けているという話になってくる。

火の問題がクリアになったから水蒸気機関や燃焼機関（エンジン）や電気などの段階へステージアップしたとも言える。

現在問題となっている原子力も・・・

「ある種の課題がクリア」

になれば、小型モジュール炉などの安全な次世代原子炉などが普及したり、再生可能エネルギーが普及していく未来が想定される。

そうなった時に神様としては・・・

神「よく頑張ったわね！では次はフリーエネルギーね！」

みたいに更に次のステージに行くという流れになる。

逆に核を使って戦争を起こすとSFみたいにもう一回、原始時代や中世からやりなおしてみたいな話になってくる。

超古代文明

現に今の文明は第7世代だか8世代という説がある。

超古代文明としてレムリアやアトランティスは有名だが、その他にも何度か文明の興亡があったとされる。

ちなみに超古代文明とは紀元前4000年以前に存在した文明とされている。

超古代文明についての真偽は不明だが、実際に各大陸に遺跡やオーパーツなどの存在（偽物と混在はしているが）は物証として確認される。

ある聖者から聞いた話では、超古代文明の時の我々（人類）はサードアイがあって肌が緑だったみたいな話も聞いたし、その手の話はスピリチュアル界限ではよく聞く話ではある。

その各超古代文明において、多くの場合は精神的にしる科学的にしる何らかの暴走や争いがあり、一旦リセットを繰り返して今日に至るという話になってくる。

で、その最後の文明が今だという話。

つまり7回目だか8回目だかの文明の興亡があり、この時代をもって最後になるという話。

最後とは、これをもって黄金時代に突入して二度と過ちは繰り返さず、夢のような世界がやってくるという。

これは様々な能力者や聖者が予言していることで、諸説あるが時期的には2050年前後とされている。

具体的には2つの要素。

- ・科学文明の飛躍的な進歩
- ・精神性の進化

が起こるとされている。

シンギュラリティ

実際に科学文明の飛躍的な進歩については予言を持ち出すまでもなく、有名なところではレイ・カーツワイル氏が提唱しているシンギュラリティ（技術的特異点）が2030年から2050年頃に起こると予測され、話題になっている。

シンギュラリティについてはネットや本などで情報が沢山あるので、そちらを観ていただきたい。

簡単に解説すると、このシンギュラリティについても諸説あるが、現実的なところでは今話題のコロナワクチンで使われているmRNAが癌治療や再生医療に実用化一歩手前の状態。

つまり、今のところは病気になると薬を飲むが、しばらくすると薬がなくなり遺伝子レベルで病気を治療したり、3Dプリンターで臓器などを作って取り替える事が出来る世界がすぐそこまで来ている。

また、少し前に話題になったエリザベス・パリッシュCEOなどは自分の体のテロメアを治療して一発で20歳若返る事に成功したと報告している。

テロメアとは細胞内にあって、この長さが寿命を決定している重要な因子とされている。

今まではマウスの実験ではこの遺伝子治療は行われていたが、諸事情により彼女自身で実験し実用化に向けて動いている。

[エリザベス・パリッシュの会社]

<https://bioviva-science.com/>

もちろん、このエリザベス・パリッシュCEOの提言には様々な反論もあり、現段階では一般化はしていなが、医療の可能性の一つとしては示唆される。

また、もっとぶっ飛んだ話では人間はAIと一体化して不老不死になるというような説もある。

「リアルさん、それって都市伝説的な話でしょ？」

と思うかもしれないが、有名なところではムーンショット計画がある。

ムーンショット計画

内閣府：ムーンショット計画

<https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/sub1.html>](<https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/sub1.html>)

リンクをみて頂ければわかるが、日本の内閣府が出している計画だ。

どのような計画か簡単に引用すると・・・

----- 引用 -----

・ムーンショット目標1 2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現。

・2050年までに、複数の人が遠隔操作する多数のアバターとロボットを組み合わせることによって、大規模で複雑なタスクを実行するための技術を開発し、その運用等に必要な基盤を構築する。

・2030年までに、1つのタスクに対して、1人で10体以上のアバターを、アバター1体の場合と同等の速度、精度で操作できる技術を開発し、その運用等に必要な基盤を構築する。

-----引用終わり-----

これを内閣府がやっているというのもビックリだし、ネーミングからしてムーショットというのがなんとも言えない響きをもつ。

靈的文明の到来

今のシンギュラリティ系の話は科学文明の話だが、これと並行して精神文明も飛躍的にアップしていく。

この話も諸説あるのだが、簡単に言えば天界にいるような状態の精神性になるという話。

- 内的な意識の平和が持続し
- 高い精神性を保有
- 病気は基本的に無い世界
- テレパシー的な各種能力も個人差はあるが普通
- 人間は永遠の存在という認識が一般化
- 死後の世界との交流も一般化
- 寿命もノアの時代のように伸びる
- もしくは一つの体を複数の意識でシェアする

ような世界が到来すると予測されている。

ただ、この辺も多様性というか、並行宇宙というか、個々人によって変わってくるという話にはなっている。

例えば、上のような状態になると言われても・・・

「いや、俺は戦いの中で生きていきたい！」

という戦闘民族チックな人もいるだろう。

そういう場合はそういう世界が用意されているという話ではある。

つまり、地球はかつてない黄金時代をむかえるが、その波動に合わない場合は他の星に転生するという話にはなってくる。

来生は違う星？

これはマーヤな話になってくるが、ある聖者からプラーナを吸収するテクニックをマスターしに行った事があった。

そこで、Oリングテストを参加者が行って、次回の転生で地球に生まれ変わるかチェックした事がある。

結果は約9割の人々が次回の生は地球以外の星に生まれかわるという結果に。

地球以外の惑星に転生出来るという結果になった人達は・・・

「ワ～ 地球以外の星に転生出来るのね！」

と喜んでいたが、その喜びに水をさすように聖者曰く・・・

「次回もこの地球に生まれ変われるというのは大変ラッキーな事です。

あとしばらくすると、地球は最後の黄金期をむかえて地上の天国となるからです。

地球以外の星に生まれ変わる人は、その星の人をサポートする役割になるでしょう。」

という話。

つまり、言ってしまうえば9割くらいは来生も今の地球と同じような他の発展途上国の星に生まれ変わり、残りの1割はいわゆるアセンションした地球に生まれかわるという話。

このように科学的にも超文明化が進み靈的にも今までの超古代文明でも達成しえなかった世界がやってくるとされている。

「リアルさん、でも一部のエリートが支配する超管理社会が到来するのではないですか？」

「コロナやワクチンもその支配の一環としてあるのでは無いですか？」

そういう意見もあるだろう。

ここで話は戻るが最初に説明した話。

神が私達にテーマとして成長するたびに与える課題であり・・・

「それをクリアしたら、次のステージ」

という構図が適用されるのではないかと感じている。

つまり、かつて無い勢いで混迷を増していくような世界が展開されているようにも見えるが、これも一つの見方である。

一方で有名なところでは、しばらく前に話題になった本で「FACTFULNESS(ファクトフルネス)」などでも世界は調和に向かっているという見方も出来なくは無い。

この辺の世界認識は性格というかカルマによってだいぶ違った見解になる。

もしかしたら、これらの今の話を読んで・・・

「今のコロナやワクチンなどが課題だとしたら、クリア出来なかった時が心配です」

「私は黄金期の地球に生まれ変われずに、もっと原始的な過去の地球のような星に生まれ変わるのかも」

と心配するかもしれない。

既に救われている

しかし、本質的な話をしてしまえば、仮に一部の特権階級に支配される超管理社会になったり、原始的な過去の地球に生まれ変わっても、本質的な意識としての私達は既に自由な存在である。

宗教的な言い方をすれば、既に救われている。

誰もが本質的な神聖な意識がベースで、ノンデュアリティなどで話されるワードではあるが・・・

「あなたは既にそれである」

という話になってくる。

ただ、それに気づいていないだけで、実態としては「それ」なわけだ。

だから、何も心配する必要はない。

私達には私達のペースでその認識が来るべき時に来る。

「リアルさん、そうは言っても具体的に何か対策とか・・・」

という話もあるかもしれない。

そこで今回は私の講座の参加者さん達からよせられた情報を少しシェアしていく。

ワクチンとブロックチェーン化

ワクチン肯定派の人はとりあえずワクチンを打てばいいだけの話なので、ここでは否定派の人向けの対策を紹介。

今後、ワクチンを3回ブーストで打ちましようとか、ワクチン接種完了者には行動の自由を与えるなどの話が既に出てきている。

2023年に銀行などもブロックチェーンを取り入れ、近い将来日本でも現金を使う頻度が更に減ってくると予測されている。

○三菱UFJ銀、店舗を40%削減へ

<https://www.coindeskjapan.com/64172/>

これらのブロックチェーン化による電子決済がメインになった時に・・・

「ワクチンパスポートが無いと口座やカードが作れません」

という話が濃厚になってくる。

口座を作るのにパスポートやマイナンバーが必要だったりする。

それにプラスしてワクチンパスポートが必要になる可能性が高いという話。

つまり、ブロックチェーンを基盤とした暗号資産が現金に取って代わる社会になるわけで、そうなる色々な面でワクチンを打たない人には不利な世界がやってくる。

現金がいくらあっても使えないからだ。

現にワクチンパスポートは接種率が高い諸外国や海外旅行などは今でもそういった規制がかかっている。

ではどうするか？

ワクチン対策

ワクチンを打ってもその悪い作用を解毒すればいいという話になってくる。

ちなみに、これ以降の情報は自己責任でお願いします。

ワクチンの代わりになるものと、ワクチンの毒を解毒するものを紹介する。

これらのものは私の講座の参加者達から集まった情報だ。

ワクチンの代わりになるものは各種存在するが、今回はイベルメクチン。

イベルメクチン

イベルメクチンについて詳しくは検索して調べて頂きたい。

Yahooニュース イベルメクチン

<https://news.yahoo.co.jp/articles/44106e08ec73e4199bc49e391926eabcb610e20a?page=1>(<https://news.yahoo.co.jp/articles/44106e08ec73e4199bc49e391926eabcb610e20a?page=1>)

一点だけ特徴をあげるとイベルメクチンは変異株にも有効だと言われている。

――引用――

現在、懸念されるのが変異株だ。ワクチン接種先進国のイスラエルでは、最近の新規感染者のうち約42%がワクチンの2次接種を終えていると現地メディアは報じた。デルタ株（インド発）からもう一段階変異を遂げたデルタ・プラス株が確認され、それはさらに伝播（でんぱ）性が強いといわれる。

だがイベルメクチンはウイルスのスパイクタンパクを阻害するためウイルスが細胞内に入り込めない。そのうえ細胞内に入っても複製を阻害するので、変異株にも効果があるという試験結果も報告されている。

――引用おわり――

ここで・・・

「リアルさん、イベルメクチンはどこで入手すればいいのですか？」

という質問もあるかと思う。

購入先はいくつかあるのでシェアしてみたい。

オオサカ堂

[https://osakadou.cool/products/s?key=8af2bf67f8e06d3c2dba68f8c555481274d5217d&cid=0&k=%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%A1%E3%82%AF%E3%83%81%E3%83%B3&fields=57320e48e010ce2b40b615acbcb35edfaf81837%253A\]\(https://osakadou.cool/products/s?key=8af2bf67f8e06d3c2dba68f8c555481274d5217d&cid=0&k=%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%A1%E3%82%AF%E3%83%81%E3%83%B3&fields=57320e48e010ce2b40b615acbcb35edfaf81837%253A](https://osakadou.cool/products/s?key=8af2bf67f8e06d3c2dba68f8c555481274d5217d&cid=0&k=%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%A1%E3%82%AF%E3%83%81%E3%83%B3&fields=57320e48e010ce2b40b615acbcb35edfaf81837%253A](https://osakadou.cool/products/s?key=8af2bf67f8e06d3c2dba68f8c555481274d5217d&cid=0&k=%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%A1%E3%82%AF%E3%83%81%E3%83%B3&fields=57320e48e010ce2b40b615acbcb35edfaf81837%253A)

ぽちたま薬局

[https://pochitama.pet/detail.php?pid=676\]\(https://pochitama.pet/detail.php?pid=676](https://pochitama.pet/detail.php?pid=676](https://pochitama.pet/detail.php?pid=676)

使い方の例

<https://www.eppingstjohns.org/ivermectin-dose/>

ファビピラビル

次にワクチンを解毒するといわれているも。

下記のどちらかを使用。

(ファビフルもサイファビルも成分は同じもの)

ファビフル/Fabiflu(ファビピラビル/Favipiravir)

(通称アビガン)

<https://oshuya.com/fabiflu200mg.html>

サイファビル/Cyfavir(アビガンジエネリック)

(ファビフルの後発医薬品)

<https://oshuya.com/cyfavir200mg.html>](<https://oshuya.com/cyfavir200mg.html>

使用例

ワクチン接種から3～5日間

初日に1600mg

翌日以降に800mg

を目安に接種する。

<以上の使用は自己責任でお願いします>

以上でレポートは終了となる。

PCR検査を12月で停止

まとめると・・・

- コロナやワクチンはある種の課題として存在する
- 課題をクリアした場合は次の段階へ進む
- ワクチンの代わりになるものと解毒するもの

という事でシェアした。

情報を提供して頂いた皆様ありがとうございます。

イベルメクチンやファビピラビルを紹介したが、基本的には免疫力をあげておくのがコロナに対する有効な対処法だと考えている。

なぜなら、色々といわれているが個人的には感染力が強めの風邪という認識だからだ。

これは私の主観というよりも最近の動きではCDCの発表などもそういう風向き。

“2021年12月31日に、物議を醸しているPCRテストの緊急使用申請を取り下げることを宣言の記事”

<https://nationalfile.com/cdc-seems-to-tacitly-admit-pcr-tests-cant-differentiate-between-covid-and-the-flu/>

上のリンクは英文だがChromeなどは翻訳してくれるので読んでみるといい。

7月21日にアメリカのコロナ担当のCDC（米国疾病管理予防センター）の公式の発表があったので上記のような記事になっている。

簡単にいうとPCR検査ではインフルエンザなどの風邪と区別がつかないから違う検査法を導入予定というような内容。

去年からインフルエンザの感染数が劇的に減少したのは有名な話だが、ここに来てPCR検査は正確性に問題があるとようやく方向転換した。

新型コロナは存在しない？

このPCR検査の話になると話は長くなるので簡単に触れるに留めるが、新型コロナ自体の存在が確認出来ないという問題もある。

最近では徳島大学の大橋教授がこの問題を国に対して訴訟をおこした。

詳しくこのような動画がある。

<https://sp.nicovideo.jp/watch/so39130224>

詳しくは動画を観て頂きたいのだが、PCR検査が正確かどうか以前の問題としてコロナウィルスの存在さえ明確にされていないという話になっている。

であるから、連日の感染者数（陽性者数）の発表はほとんど意味が無いという。

ウィルスに感染したかどうかは、現段階の検査では不可能なので「発病者数」でカウントしなければ意味が無いという話になってくる。

そうすると、現在のコロナを巡る状況はまさに狂騒曲の様相を呈していると言えよう。

といわけで、結局私達が出来る対策としては、免疫力を上げるのが結局おすすめという話。

最後に

短いレポートだったが、いかがであっただろうか。

コロナやワクチン問題は微妙な問題なのであまり発言はしてこなかった。

というか、コロナ騒ぎが始まった頃は動画なども数本上げたが、そっち系は動画が削除されたりアカウントが停止になったりするリスクもあったという事で情報発信はしていなかった。

また、それよりも私がする仕事でもないかという気がしてコロナ関連はストップしていた。

私がする仕事でも無いというのは、理解する人を選ぶ話ではあるが、コロナもワクチンもそうだが、戦乱も地震もある意味大いなる流れの中で起こっている事である。

それを承諾して（させられて？）私達はこの地に生まれて来たわけだし、その大いなる意図、神と言ってもいいし宇宙の摂理と言ってもいいが、それに対しては否とは言えない。

ただ、そうは言っても一定数のご質問を頂いたので、今回のレポートとなった。

これを書いているのはオリンピック最中である。

感染者数（正確には陽性判定数）が1万4千の過去最高を記録。

緊急事態宣言ではなくロックダウンまで踏み込むのかという話も出始めた。

ただし、諸外国や諸々の動きをみていると、コロナ騒動は年末頃には一旦は落ち着く可能性が高い。

日本もPCRの陽性判定を見直す流れが浸透してくれば、普通の生活（ただしワクチン接種は進む）が戻ってくる。

これを読んでいるあなたも、色々なストレスはあると思う。

ただ・・・

「夜明け前が一番暗い」

ということわざもあるように、一見マイナスの事のなかにも反作用としてプラスの事が隠れているものだ。

このレポートが少しでも役にたてれば幸いである。



<近所の田園>

連日の真夏日、夕焼けを眺めながら

リアル